

苅田町立図書館 新着推し本紹介のこーなー

4月の推し本



『「なりたい私」に近づく1分!ルーティン』

日経BPマーケティング 請求記号 159.6/ナ/ 資料番号 610136756

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00605048>

【紹介文】素敵だな～憧れるな～どうしたらあんな風になれるんだろう…。そんな思いはあるけれど、どうしたらいいかわからない、分かっているけどなかなか行動を起こせない。そんな人はきっと多いのではないのでしょうか。この本ではお金、健康、働き方等テーマ別に世のキラキラした女性たちが心がけていることを具体的に教えてくれます。薄めの本でカラー、写真たっぷりなのでまず読むことにハードルが低めに感じるのもポイントが高いです。パラっと見てこれならやれそう!と思うもの一つからでも実践してみると、この春新しい自分と出会えるかも!?

『ハラスメント大全』

野原 蓉子 // 監修 青春出版社 請求記号 366.3/ハ/ 資料番号 610136749

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00605044>

【紹介文】ハラスメントとは...「人を悩ますこと。優越した地位や立場を利用した嫌がらせ。」(広辞苑より)よく耳にするセクハラ、パワハラだけでなく最近は鬼滅の刃を見ていない人に読むように促す「キメハラ」という言葉も登場し話題になりましたね。悪意がなくても言ったことや行動が無意識に人を傷つけていることもあります。では、どのような行動がそれに当てはまるのか?この本では事例をあげ、いくつものハラスメントを教えてくれています。自分の行動を見直して気持ちよく新年度を迎えたいですね。

『家でも外でも転ばない体を2カ月でつくる!』

安保 雅博 // 著 中山 恭秀 // 著 すばる舎 請求記号 493.1/ア/ 資料番号 610137416

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00605460>

【紹介文】みなさん、体を動かしていますか?歩いていて、何も無いのにつまずき転んだ...ということありませんか?高齢化社会の今、寝たきりの大きな原因が転倒・骨折とくれば自分は何れだけ回避できるのでしょうか。転倒を防ぐには、バランス能力が必要であり、そして筋力強化と...この本は詳しく説明しています。生活環境も十分に必要となるでしょう。まずは、毎日小さなことからコツコツと。かかとを上げてバランスをとってみましょう。自分の身体は自分でしか動かせないから。

『もっと!魔法のてぬきおやつ』

てぬキッチン // 著 ワニブックス 請求記号 596.6/テ/ 資料番号 610136392

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00605038>

【紹介文】お菓子作りって大変な作業だなと思います。作る物にもよりますが、まず時間がかかる。他にも材料や道具がいろいろと必要。レシピ通りの材料や道具を集めるのも大変。そういった理由からお菓子作りは少しハードルが高いなと感じてしまいます。でももっと気楽にお菓子作りを楽しめたら...と思いませんか?本書は料理レシピ本大賞(お菓子部門)を受賞した本の第2弾!「材料は最大で5つまで」「オープン不要」「特別な道具は必要なし」と簡単・手軽で毎日でも作れるようなお菓子のレシピがたくさん載っています。おうち時間におすすめの一冊です。

『松井冬子』

八柳 サエ // 監修 平凡社 請求記号 721.9 /マ/ 資料番号 610136731

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00605037>

【紹介文】個人的なことを言うと、私は松井冬子の作品が大好きだ。もともと幽霊が好き、いや好きすぎて、幽霊と名の付くもののイベントに参加してきた。幽霊の掛け軸などはその最たるもので、静まり返った寺の境内の中、蠟燭一本灯した床の間に、ゆらりと浮かび上がる青白く恨めしい絵画の数々は、見ちゃいけないものを見てしまったうしろめたさを感じる。背中寒い経験をしてきた。

松井冬子の画は、幽霊画ではないのだが、どうしてだろう、見ちゃいけないものを見てしまったあの緊張感と寒々しさに似ている。円山応挙の幽霊画とは違う、もう痛みまでうっすらと感じるまでの繊細さ。素晴らしいの一言でしかない。

『カメラじゃなく、写真の話をしよう』

嵐田 大志 // 著 玄光社 請求記号 740 /ア/ 資料番号 610136244

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00604786>

【紹介文】フツーの人が気軽に写真を撮り、気軽に見てもらえる時代になりました（功罪はいろいろありますが...）。いい写真を撮りたい！と、写真の撮り方の本を手取る方も多と思います。私もその一人ですが、「絞り」「解放値」「フルサイズ」という専門用語の波に、そっと本を閉じたため息をつく...。この本は、そんな方にもおすすめです。「良い機材で撮る」≠「良い写真を撮る」、スマートフォンで撮ることを勧める理由など、目からウロコの内容が満載です。写真以外の感性やその瞬間に出会えたことを大事にする...生き方そのものが現れるということでしょうか。掲載されている数々の写真もとても素敵です。

『フクシマ』（児童書・えほん）

内堀 タケシ // 写真 文 国土社 請求記号 E /ウ/ 資料番号 620052837

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00605270>

【紹介文】「あの日」から10年。大きな地震のあとの原発事故で大きくくらしを変えなければならなくなった人たち。今もその生活が続いている人が多くいることでしょう。その中に小学生もいることにこの作者はおどろいています。きっかけは、小学生の身の回りの環境問題を写真にとるコンテストでした。目に見えない人体に悪い影響をあたえる放射能の怖さ。でも、くらしに必要なエネルギーを作り出す放射能。10年だった今未来のくらしに必要なエネルギーについていまいちど考えてみるべきなのかもしれない。

『食虫植物ジャングル』（児童書・ものがたり）

萩原 弓佳 // 著 文研出版 請求記号 913 /ハ/ 資料番号 620051441

<https://ilisod001.apsel.jp/lib-kanda-fukuoka/wopc/pc/OpacServlet?disp=searchResultDetail&id=00604374>

【紹介文】春、暖かくなって、きれいな花がたくさん咲いて木々も青々と元気いっぱいな季節。そして、虫もげんきに動き出す。そんな虫を食べて栄養をとる食虫植物も元気なはず。草なのに虫を食べる植物なんて、不思議だ。意志を持って(?)虫をさそい食べるってすごいつて思える。でも、自分がそんな植物にねらわれるジャングルにまよいこんだら、とてもこわい！そんなぼうけんをする悩みや不満を持った小学五年生の男の子と女の子のハラハラドキドキなおはなし。



問い合わせ先

苅田町立図書館 ☎093-436-0946

開館時間：9：30～17：30（木・金は19：00まで。本館のみ）

ホームページから蔵書検索もできます



(2021.4.4発行)